

人権まちづくり フェスタさよう 2023

手話通訳あり

日程 ~時間等は前後することがあります~

13:00	開会行事	主催者・来賓あいさつ
13:10	表彰式	作文・標語・ポスター
13:30	人権作文朗読	南光小学校・佐用中学校
13:55	PTCA実践発表	上月中学校PTA
14:10	講演会	演題 「笑いと情けが人の輪をひろげる」 講師 林家染二 さん



◆プロフィール

1961年大阪市生まれ。1997年三代目林家染二を襲名。
芝居斬と共に滑稽斬を得意とし、パワフルな高座で幅広い客層を集めている。また、心の温もりを描く人情斬に高い評価を得ている。上方落語界において、文化庁芸術祭優秀賞を初めて2度受賞し、その他天満天神繁昌亭大賞など多数受賞。次代を担う正統派として注目されている。日航名人会海外公演で19カ国30都市を巡演した。2012年から落語家で初めて京都大学にゲスト講師として年一回登壇。大学教育や各種社会問題をテーマとした講演など幅広く活躍している。

◆受賞歴

1993年 NHK新人演芸大賞 優秀賞
1998年 第53回文化庁芸術祭演芸部門優秀賞
2004年 第33回上方お笑い大賞 最優秀技能賞
2004年 第59回文化庁芸術祭演芸部門優秀賞
2008年 第2回天満天神繁昌亭大賞
2020年 第75回文化庁芸術祭芸能部門大賞受賞

●主催／佐用町・佐用町教育委員会・人権文化をすすめる町民運動推進会議

(自治会連合会・各地域づくり協議会・社会福祉協議会・高年クラブ・身体障害者福祉協会・手をつなぐ育成会・民生委員児童委員協議会・ボランティア連絡会・人権教育協議会・龍野人権擁護委員協議会佐用部会・佐用郡経営者協会・佐用郡PTA連合会・保育園保護者会連絡協議会)

●後援／神戸地方法務局龍野支局・龍野人権擁護委員協議会

2023年佐用町人権啓発作品 入賞者 (敬称略)

作文の部

2点 (学校選抜)

性別に悩まされない世界へ

木村 華乃音 (南光小学校6年)

勇気

長谷川 水音 (佐用中学校3年)

標語の部

7点 (応募総数383点 <一般30、小学生121、中学生232>)

あいさつは あなたとつなぐ 第一歩

田口 晃子 (三日月小学校PTA)

大切な みんなもってる 色がある

山崎 詠日 (佐用小学校6年)

やさしさは みんなにとどける 宝物

坂野 結菜 (佐用小学校6年)

勇気出し 言えたひとこと いい気持ち

佐藤 潤一郎 (上月小学校6年)

おもいやり 広がるつながる みんなの笑顔

阿山 未和 (佐用中学校3年)

あと一歩 ふみ出す勇気が 誰かを救う

山下 紗良 (上月中中学校2年)

ごめんねと 言える心と 許せるきずな

福本 結菜 (上津中学校1年)

ポスターの部

5点 (応募総数44点 <幼保6、小学生20、中学生18>)

みんなみんなたいせつなともだち

上月保育園 5歳児

老若男女関係ない一人一人が人生を楽しむ権利がある！！

疇地 遥 (佐用小学校6年)

思いやりあなたからつなげましょう

山田 群士 (佐用小学校6年)

性のあり方は無限大

久保 紡生 (上月中中学校3年)

壊さないで人の心も自分の心も

松井 澪 (上津中学校2年)

人権啓発作品展

●日時 11/21 (火) ~ 12/3 (日) 9:00 ~ 17:00

●場所 さよう文化情報センター ホワイエ・ギャラリー

性別に悩まされない世界へ

南光小学校 6年 木村 華乃音

私は、性別について、なぜ日本で同性婚が認められていないのか、疑問をもちました。同性の人を好きになったら、周りにおかしいと思われたり反対されたりする。なぜ、自分の意思が認められないことがあるのだろう。そんな疑問をもったのは、Aさんについて知ったことがきっかけです。

私はインターネットで活動しているAさんのことが好きです。そのAさんが、昔自分の性別のことで悩んでいたことを知りました。19歳の時に、「性同一性障害」だと診断されたそうです。Aさんは、FTMでした。FTMというのは、身体は女性だけれど、心は男性で、女性から男性への性別移行を望む方のことです。Aさんは、自分の人生を後悔しないように、手術を受けたいと考えました。でも、19歳のAさんが手術を受けるには、親のサインが必要でした。はじめ、Aさんは家族に内緒でなんとかしようとしていましたが、お母さんに見つかってしまいました。お母さんに納得してもらうことは大変でしたが、Aさんは一生けん命説明をして、同意してもらうことができたそうです。

1回目の手術から数年後の24歳の時、Aさんはタイに2回目の手術に行きました。タイでは、18種類の性別があると言われているそうです。手術後、Aさんはある人に出会いました。その人は、MTF、つまりAさんとは反対の体は男性で、心が女性の方でした。Aさんは、その人と分かる単語でいろいろな話をして、日本とタイのちがいを実感したそうです。

私は、最近まで、LGBTQという性的マイノリティのことは知りませんでした。周りにそんな風になやんでいる人がいるかもしれないと考えてみたこともありませんでした。でも、Aさんの話を聞いて、この世の中に自分の性別のことでなやんでいる人がいることを知りました。この世の中に、自分の心の性別に正直に生きることができない人がたくさんいることを知りました。みんなとちがうと決めつけられ、認めてもらえずにつらい思いをしている人がいる世の中は、とてもかなしいと思います。だから、Aさんが行ったタイの人たちのように、日本でも自分の心の性別に正直になり、本当の自分自身をおさえたり消してしまったりせずに、だれもが自分らしく生きていける世の中になってほしいです。

そのために、みんながお互いに分かり合おうとすること、自分とちがうからといって差別をしないことが大切だと思います。私は、きっと性別になやまされない世の中になると信じて、私自身も、性別に関係なく一人の人として、相手のことを知り、理解し、その人らしさを尊重していきたいと思います。

勇 気

佐用中学校 3年 長谷川 水音

みなさんは、大勢の前で話す「勇気」はありますか。

私は、小学生の頃、目立ったことをするのが苦手で、授業などで発表したり、自分の気持ちを友だちに伝えたりすることが苦手でした。それは、「友だちと違う意見だったらどうしよう。」と自分に自信がなかったからです。そんな私が中学2年生のとき、生徒会専門委員長選挙に立候補しました。姉が生徒会役員だったこともあり、生徒会にはもともと興味がありました。しかし、「落選したらどうしよう。」「自分の気持ちが伝わらなかったらどうしよう。」という不安が大きく、最初は立候補するかどうか迷っていました。そんな選挙の前、当時の生徒会長や担任の先生が、「結果がどうであれ、立候補することに意味がある。」ということをお話してくださいました。また、友だちからも、迷っている私に「水音ちゃんなら絶対大丈夫。」と声をかけてもらい、勇気を出して立候補することができました。立会演説会では、声が震え、とても緊張しましたが、全校生徒の前で堂々と演説ができたことがとても嬉しかったです。選挙の結果を翌朝の放送で聞いたとき、私は当選していましたが、落選した友だちのことを考えると素直には喜べませんでした。落選した友だちは、私に「おめでとう。」と言ってくれました。私は、当選したことも嬉しかったけど、仲間であり、ライバルでもある17人と前に立って演説できたことが何よりも嬉しかったし、素晴らしいことだと感じました。

私の友だちが、副生徒会長の選挙に立候補し、落選してしまいました。でも、もう一度挑戦しようと専門委員長選挙に立候補していました。今では、同じ生徒会の一員として一緒に頑張っています。「勇気を出す」ということは本当に難しいと思います。でも、「一度落選したからもう無理」と諦めてしまうのはもったいないし、後悔すると思います。この先、迷うことは数えきれないくらいあると思います。普段から自分の意見がはっきりと伝えられない人はぜひ、チャンスだと思って勇気を出してみてください。そうすれば、今までよりも生活が楽しく、充実すると思います。でも、すぐに自分の意見がみんなに伝えられる人は少ないと思います。「みんなが何も気にすることなく、発言できるようにする。」ということですが、一人ひとりが勇気を出せるかどうかは周りの雰囲気によって変わってくるものだと思います。冒頭でも言ったように、私は、小学生の頃は発表が苦手でした。「間違っていたら友だちに何か言われるのではないか。」と思い、勝手に「間違う」というものに恐怖を感じていました。私は、中学生になって授業などで発表を頑張っています。その中で、もちろん間違えることもたくさんありました。でも、周りの友だちはそれをからかわず、私が正解するまで温かい目で見てくれました。そんな経験があるから、私は今、何も気にせず、人前で堂々と話せているのだと思います。

私が、選挙に立候補しようか迷っていたとき応援してくれた友だちのように、次は私がみんなの背中を押してあげる番です。みんなが自分の意見を言えるような環境をリードして作るのは、私たち生徒会役員の役割ではないでしょうか。自分の気持ちが上手に伝えられない人などが当たり前のように意見できるよう、日々考えています。そして、みんなが相手を思いやりながら自分を信じて行動できる、そんな世の中が世界に広がればいいなと思います。

明るい未来のために。

2023年 佐用町人権啓発入賞作品（ポスターの部）（敬称略）



上月保育園 5歳児



疇地 遥（佐用小学校6年）



山田 群士（佐用小学校6年）



久保 紡生（上月中学校3年）



松井 澪（上津中学校2年）

第75回 人権週間 12月4日（月）～10日（日）

「誰か」のことじゃない。

（みんなの人権110番 0570-003-110）